

(仮称) 光市総合戦略
中間案について

平成27年8月
山口県光市

目 次

section 1 ベーシックポリシー（基本的な考え方や方針）

I 光市総合戦略とは

- 1 趣旨
 - (1) 位置づけ
 - (2) 本市が進めるまちづくりとの関係
- 2 対象期間

II 光市の現状と課題

III 基本的視点と政策目標

- 1 基本的視点
- 2 政策目標

IV 基本方向と基本戦略

- 【政策目標 1 産業振興と雇用の創出】
- 【政策目標 2 都会からの移住促進と定住支援】
- 【政策目標 3 結婚・出産・子育ての希望実現】
- 【政策目標 4 時代にあった都市経営】

V 戦略の推進と評価・検証

- 1 戦略の推進
 - (1) 協働による戦略の推進
 - (2) 情報の発信と共有
 - (3) 光市総合計画への位置づけ
 - (4) 国・県との連携
- 2 客観的な効果の検証と改善
 - (1) PDCAサイクルによる施策・事業の検証・改善と戦略の見直し
 - (2) 評価・検証の体制

VI 参考資料

section 2 アクションプラン (具体的な行動計画)

【政策目標1 産業振興と雇用の創出】

- ▶ 基本戦略① 「いきいきと働く“光のしごと”」商工業元気戦略
- ▶ 基本戦略② 「海と大地の恵み^{プラス} + 人の情熱」農林水産業進化戦略

【政策目標2 都会からの移住促進と定住支援】

- ▶ 基本戦略① 「光」の発掘！発信！知名度向上戦略
- ▶ 基本戦略② 「おいで一ね！光へ」移住・定住促進戦略

【政策目標3 結婚・出産・子育ての希望実現】

- ▶ 基本戦略① 「光で家族になろうよ！」結婚・出産祝福戦略
- ▶ 基本戦略② 「おっばい都市のクオリティ」温もり子育て応援戦略
- ▶ 基本戦略③ 「子どもたちはまちの“宝”」子育ての「わ」拡大戦略
- ▶ 基本戦略④ 「まち全体が教室！」連携と協働の教育実践戦略
- ▶ 基本戦略⑤ 「可能性は無限大！一人ひとりに向き合う」やさしさ教育実感戦略

【政策目標4 時代にあった都市経営】

- ▶ 基本戦略① 「人が地域でつながり動く」地域自治開花戦略
- ▶ 基本戦略② 「いつまでも“光”で自分らしく」医療・福祉充実戦略
- ▶ 基本戦略③ 「“光”が“光”であり続けるために」まちの再構築戦略

I 光市総合戦略とは

1 趣旨

(1) 位置づけ

「光市総合戦略」は、2060年を展望する「光市人口ビジョン」に掲げる目指すべき未来の方向に沿って、「まち」「ひと」「しごと」の好循環を生み出し、人口減少と地域経済縮小を克服するための、当面5年間の目標や取組みの方針、具体的な施策を示すもので、まち・ひと・しごと創生法第10条に基づく市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略として位置づけます。

(2) 本市が進めるまちづくりとの関係

まち・ひと・しごとの創生は、人口減少社会の中において本市が目指すまちづくり、すなわち、人々が「幸せ」を実感できる「ゆたかな社会」づくりと方向性を同じくするものであることから、策定にあたっては、国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び県の「山口県まち・ひと・しごと創生総合戦略」を尊重しつつ、「ゆたかな社会」を実現するための諸条件のうち、まち・ひと・しごとの創生に特化したとりまとめを行いました。

本戦略に掲げた人口対策や都市の活力創出対策の考え方や内容は、次期光市総合計画に継承することを前提とします。

2 対象期間

平成27(2015)年度から平成31(2019)年度の5か年を計画期間とします。

II 光市の現状と課題（人口ビジョンを踏まえて）

☞ 人口減少の加速化と少子高齢化の進行

○ 総人口

(過去) S59 (現在) H26 (未来) H72【社人研予測】
58,715人 ⇒ 51,675人 ⇒ 29,635人

※(過去)、(現在)は人口移動統計調査から出典

○ 年少人口(14歳以下)、老年人口(65歳以上)

	(過去) S60	(現在) H26	(未来) H72【社人研予測】
年少人口比率	約 22.6%	⇒ 約 12.5%	⇒ 約 9.7%
老年人口比率	約 12.0%	⇒ 約 31.9%	⇒ 約 38.2%

※(過去)は国勢調査、(現在)は住民基本台帳から出典

本市では、第2次ベビーブームや高度経済成長を背景に、昭和40年から50年代にかけて出生数や転入者数が大幅に増加し、人口を急激に押し上げる要因となりました。しかし、本市の総人口は、昭和59年の58,715人をピークに減少に転じ、平成26年には51,675人となっています。また、国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、今後さらに人口減少が加速し、平成72(2060)年には、3万人を割ると予測されています。

また、人口減少と併せて人口構造の変化も進んでいます。平成17年に、65歳以上の人口割合が21%を超える「超高齢社会」に突入し、平成26年には31.9%に上昇、今後、約40%近くまで進行することが予測されています。

さらに、14歳以下の年少人口の割合は、平成26年の12.4%から平成72(2060)年には10%を割り込むと予測されており、その数も約6割減少すると予測されています。

☞ 自然減(死亡が出生を上回る)と社会減(転出が転入を上回る)の流れ

○ 自然増減

出生の減少、死亡の増加 ⇒ 自然減少幅の拡大

○ 社会増減

転入、転出とも減少 ⇒ 社会減の傾向

国よりも10年早い平成7年には自然減の傾向が見られ、平成26年は自然減少数が292人となっています。また、合計特殊出生率は、一時期よりも回復傾向にあり、直近の平成20年から24年は、1.60となっています。

転入数と転出数は、昭和47年以降、全体として社会減の傾向となっています。平成22年から26年までの5か年の人口移動の合計をみると、県内の移動も県外の移動も転出超過となっており、県内では下松市や田布施町、県外では広島県や東京都への転出超過数が多くなっています。

☞ 産業人口構造の移り変わり と 第一次産業の後継者不足

○ 就業人口

第一次産業、第二次産業は減少、第三次産業はおおむね維持

○ 第一次産業の後継者不足

60歳以上は約80%、40歳以下は約6%

第一次産業、第二次産業の就業人口が減る一方で、第三次産業の就業人口はおおむね維持されており、第三次産業への就業人口割合が高まっています。

また、農業や漁業を営む人の約80%が60歳以上の一方、40歳代以下は約6%にとどまり、著しい高齢化と後継者不足が進行しています。

このまま動かなければ・・・

人口減少や少子高齢化が、市全体の活力低下や人と人のつながりの希薄化をはじめ、民間・公共を問わず施設の廃止や縮小を招き、暮らしの安全・安心や利便性を低下させます。

また、経済の縮小が、まちの賑わいや活気、生活水準の低下を招き、勤労意欲にも影響します。さらに、若い人を中心に、まちづくりの担い手を減らし、増大する社会保障費などが市財政に深刻な負担を与えます。

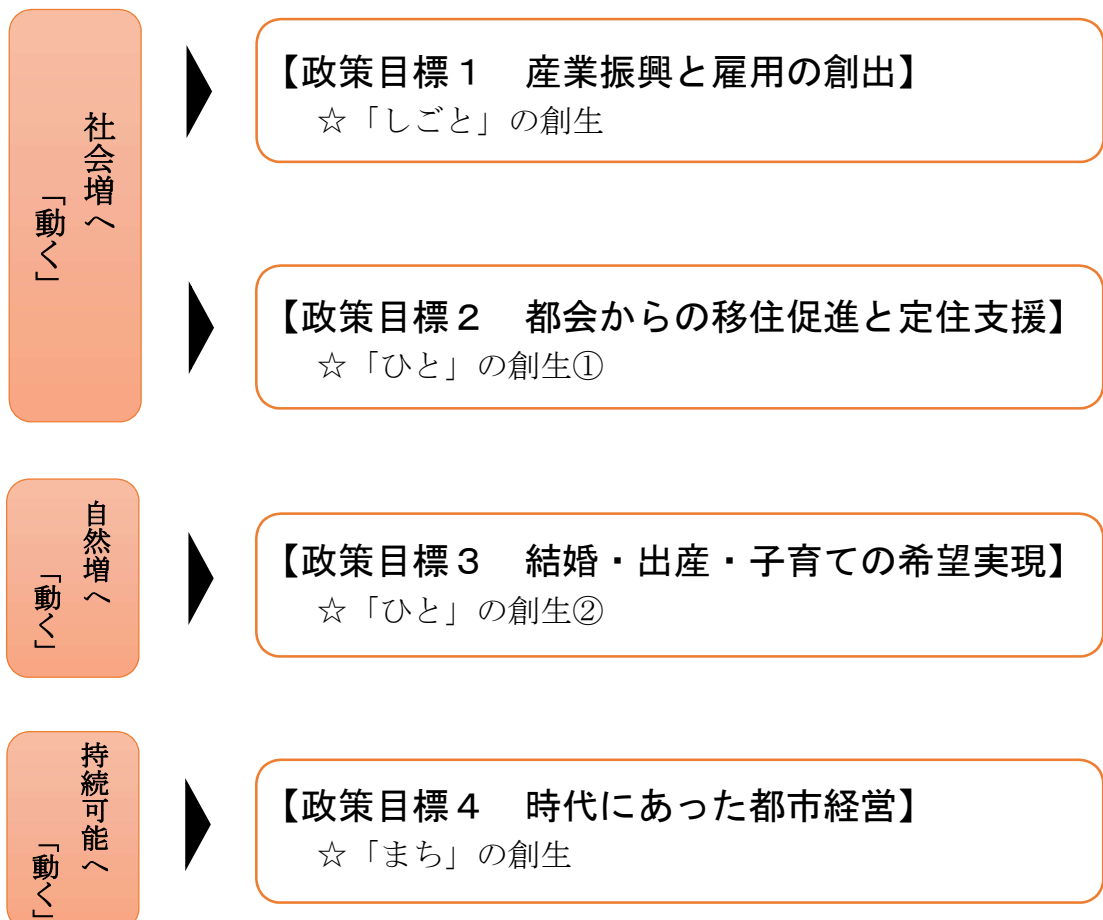
Ⅲ 基本的視点と政策目標

1 基本的な取組みの視点

3つの「動く」で光市の未来を創生します。

- **社会増へ「動く」**
～ 誰もが住みたい、住み続けたい魅力を放つまち ～
- **自然増へ「動く」**
～ 誕生を祝い、心豊かで健やかな“光っ子”を育むまち ～
- **持続可能へ「動く」**
～ 光が光であるために、人口減少社会に対応するまち ～

2 政策目標



IV 基本方向と基本戦略

【政策目標 1 産業振興と雇用の創出】

	内 容	基準値	目標値
成果 目標	市内総生産額		
	就業者数		
	産業振興や雇用に関する「満足度」		

《基本的な方向》

人々の生活の基盤となる地域産業の活性化を促進し、第一次産業から第三次産業（第六次産業を含む。）までにおいて、雇用の拡大を進めることで、若い世代が安心して働ける職場の創出を進めます。

▶ 基本戦略① 「いきいきと働く“光のしごと”」商工業元気戦略

本市の発展をリードしてきた地域の商工業は、まちの活力や市民生活を支える雇用の源泉です。このため、鉄鋼・薬品を中心とした基幹産業の振興とともに商業やサービス業の育成と経営基盤の強化を支援します。また、新たなビジネスや成長産業の創業を促進します。さらに、若者や女性、働く意欲のある高齢者や障害者などの就労機会の確保を図るとともに、勤労者が誇りをもって、いきいきと安心して働ける労働環境を創出します。

<取り組む施策>

- ◎ 商業・サービス業の育成支援
- ◎ 工業の振興と企業誘致の促進
- ◎ 創業と新しいチャレンジへの支援
- ◎ 雇用の拡大と就労環境の充実

▶ 基本戦略② 「海と大地の恵み^{プラス} 人の情熱」農林水産業進化戦略

有形無形の様々な地域資源と農林水産業の融合により、新たなビジネス展開を目指す「第六次産業化」は、従事者の雇用と所得の確保にも大きな効果が期待できます。このため、第一次産業の活性化を図るとともに、生産から加工、販売に至る一体的な流通販売体制の構築を進めます。

<取り組む施策>

- ◎ 生産・生活基盤整備と経営安定化への支援
- ◎ 意欲あふれる人材の育成と後継者の確保
- ◎ 地産地消による農林水産物の消費拡大
- ◎ ブランド化と新たな流通の確立

【政策目標 2 都会からの移住促進と定住支援】

	内 容	基準値	目標値
成果 目標	都会※からの転入者数 <small>※転出が多い東京圏、大阪圏、広島、福岡</small>		
	転出者数		
	今後もずっと光市で暮らしたいという人の割合		

《基本的な方向》

地方での暮らしを希望する都会の若い世代をターゲットに本市の魅力を発信し、知名度の向上を図るとともに、移住希望者への情報提供や移住後のサポートなど、様々な角度から、まちぐるみで移住者を受け入れる環境を整えます。また、光市で育った人が、いつまでも光市に住み続けられるよう、進学や就職、住居の決定など、様々なライフステージにおける地元定着を支援します。

▶ 基本戦略① 「光」の発掘！発信！知名度向上戦略

スローライフなどを求めて大都市圏から地方への移住志向が高まる中、「選ばれるまち」になるためには、人を惹き付ける魅力が不可欠です。このため、本市の「強み」である住みよい住環境や豊かな自然環境を基盤に、独自の都市ブランドを確立します。また、シティセールスの観点に立ったプロモーション活動などにより、まちの魅力を発信します。

<取り組む施策>

- ◎ 「光」を磨く！光を観たくなる基盤整備
- ◎ 「光」にこだわる！独自の魅力発掘
- ◎ 全国に届け！「光」の「光（魅力）」発信の強化

▶ 基本戦略② 「おいで一ね！光へ」移住・定住促進戦略

本市では、高校卒業後に故郷を離れて、隣接県や大都市圏に向かう若者が多くなっており、人口減少の大きな要因となっています。この流れを食い止めるため、若者の県内進学や就職の促進に努めるとともに、都市圏から地方への移住希望者を本市に呼び込めるよう、きめ細かな相談・受入体制の整備を進めるなど、本市への定住・定着を支援します。

<取り組む施策>

- ◎ 移住・定住情報の発信
- ◎ 移住者の“住む”と“働く”の安心サポート
- ◎ 住み続けたい「光」定住・定着支援

【政策目標3 結婚・出産・子育ての希望実現】

	内 容	基準値	目標値
成果	婚姻率（人口千人あたり）		
目標	出産希望実現指標（最終的な子どもの人数/理想の子どもの人数）		
	子どもの育成に関する「満足度」		

《基本的な方向》

すべての人の心豊かな成長を願う「おっばい都市宣言」のまちとして、結婚・出産・子育てに関する個人の希望を叶えることを目指し、若い世代のライフステージに応じた切れ目のない支援と、質の高い子育て環境づくりを進めます。また、学校・家庭・地域が「教育の当事者」として、子どもたちの成長を後押しするとともに、児童・生徒一人ひとりに目を向けたきめ細かな教育環境を創出します。

▶ 基本戦略① 「光で家族になろうよ！」結婚・出産祝福戦略

結婚・出産・子育ての希望をかなえるためのスタートは、男女の出会いです。共に人生を歩む人との出会いを支援するとともに、安心して子どもを妊娠、出産できる環境を整え、「おっばい都市宣言」のまち光市で、温かく幸せな家庭を築くための第一歩を、まち全体で後押しします。

<取り組む施策>

- ◎ 出会いと結婚の支援
- ◎ 健やかな妊娠・出産支援

▶ 基本戦略② 「おっばい都市のクオリティ」温もり子育て応援戦略

少子化の流れを変えるため、また、親として子育ての責任を果たしていくためには、子育てに対する負担感や不安感を取り除き、喜びを感じながら子育てを楽しめる環境づくりが大切です。このため、「おっばい都市」の名にふさわしい、切れ目のない相談・支援体制の充実を図るとともに、“光で子育てしたい”と思える環境づくりを進めます。

<取り組む施策>

- ◎ 悩みや不安を取り除くきめ細かな相談体制の充実
- ◎ 安心と希望を届ける子育ての情報発信と啓発
- ◎ 健やかに育つ子育て・子育て環境の質の向上

▶ 基本戦略③ 「子どもたちはまちの“宝”」子育ての「わ」拡大戦略

核家族化や若い共働き世帯が増加する中、健やかに子どもを産み育てるには、保護者や家庭はもとより、地域や企業（職場）、行政など、まちぐるみで子育て家庭を支えていくことが重要です。このため、男女を問わず就労と子育てを両立できる環境づくりを進めるとともに、子育て支援の輪をまち全体に広がります。

<取り組む施策>

- ◎ 仕事と家庭を両立できる環境づくり
- ◎ まち全体で支える子育て支援の展開

▶ 基本戦略④ 「まち全体が教室！」連携と協働の教育実践戦略

地方創生の流れが本格化する中であって、光市の将来を担う子どもたちは、このまちの最大の財産であると同時に、明るい未来につなぐカギを握る存在です。このため、学校・家庭・地域が一体となって、ふるさと光や自らが生まれ育った地域をこよなく愛し、夢と希望と誇りに満ちた“光っ子”を育成します。

<取り組む施策>

- ◎ 学校・家庭・地域がつながる教育の推進
- ◎ 安心して学び心豊かに育つ教育環境づくり

▶ 基本戦略⑤ 「可能性は無限大！一人ひとりに向き合う」やさしさ教育実感戦略

子どもたちが自らの可能性を高め、夢や希望を実現していく力を育てるためには、児童生徒一人ひとりを大切にした教育が重要です。子どもたちが抱える課題が複雑化する中、多様な教育的ニーズに応じた本市独自のきめ細かな相談・支援体制を構築するとともに、子どもたちの豊かな想像力や好奇心を引き出す、質の高い教育を推進します。

<取り組む施策>

- ◎ 「学び」のニーズに応える教育の実現
- ◎ 一人ひとりを大切にする特別支援教育の推進
- ◎ いじめや不登校の未然防止と対応の充実

【政策目標 4 時代にあった都市経営】

	内 容	基準値	目標値
成果 目標	「地域コミュニティ活動」の支援に関する満足度		
	地域医療対策・高齢福祉対策の充実に関する満足度		
	光市を住みよいと感じる人の割合		

《基本的な方向》

人口減少社会に対応するまちのあり方を展望し、光市の実情に応じた持続可能な都市への転換を図るとともに、「ひと」と「ひと」がつながり、心から安心できる地域での暮らしを創出します。

▶ 基本戦略① 「人が地域でつながり動く」地域自治開花戦略

人口減少や少子高齢化の社会において、多様化する地域課題を解決していくためには、自分たちの地域は自分たちで創る「地域自治」の実現が必要です。これまでに築き上げられた「市民力」や「地域力」を土台に、自治会など地域コミュニティの活性化を図るとともに、地域づくりを支える市民活動を支援します。併せて、地域コミュニティの活性化を通して、移住者を温かく受け入れ、充実した生活や余暇をサポートする環境づくりを進めます。

<取り組む施策>

- ◎ 地域と行政との協働の推進
- ◎ 地域コミュニティの活性化への支援

▶ 基本戦略② 「いつまでも“光”で自分らしく」医療・福祉充実戦略

高齢化が急速に進む中、医療や介護、生活支援などに不安を感じることもなく、安心して生活できる環境を創出することが重要です。このため、医療需要の増大に対応し、救急医療・急性期医療の充実を図るとともに、医療、介護、予防、生活支援、住まいの視点による地域包括ケアの推進により、誰もが生涯安心して暮らせる理想社会の実現を目指します。

<取り組む施策>

- ◎ 2つの市立病院を核とした安心の医療環境整備
- ◎ 高齢者にもやさしい地域包括ケアシステムの構築

▶ 基本戦略③ 「“光”が“光”であり続けるために」まちの再構築戦略

急速な人口減少により、都市の低密度化が見込まれる中、利便性の高い生活を維持しつつ、さらに効率的な都市経営への転換を図ることが求められます。このため、コンパクトなまちづくりを一層推進するとともに、公共交通のネットワーク化と再構築を進め、持続可能な都市の実現に努めます。また、公共施設の再編や適正配置などにより、将来的な維持管理経費の軽減を図ります。

<取り組む施策>

- ◎ コンパクトシティの形成
- ◎ 魅力と活力ある中山間地域の振興
- ◎ 公共施設等の再編・再構築
- ◎ 都市基盤の整備とストックマネジメント
- ◎ 効果的・効率的な行財政運営の取組み

V 戦略の推進と評価・検証

1 戦略の推進

(1) 協働による戦略の推進

戦略の推進にあたっては、行政だけでなく、市民、関係団体、事業所等との連携のもと、「チーム光市」の叡智を結集し、協働で取り組みます。

(2) 情報の発信と共有

施策・事業の進捗や達成の状況は、ホームページ等において広く発信し、光市の創生に向けた取組みについて、市民と共有します。

(3) 光市総合計画への位置づけ

戦略に掲げた人口対策や都市の活力創出対策の考え方や内容は、来年度策定予定の本市のマスタープランである次期光市総合計画に継承することを前提とし、掲げた施策・事業は、総合計画においても推進します。

(4) 国・県との連携

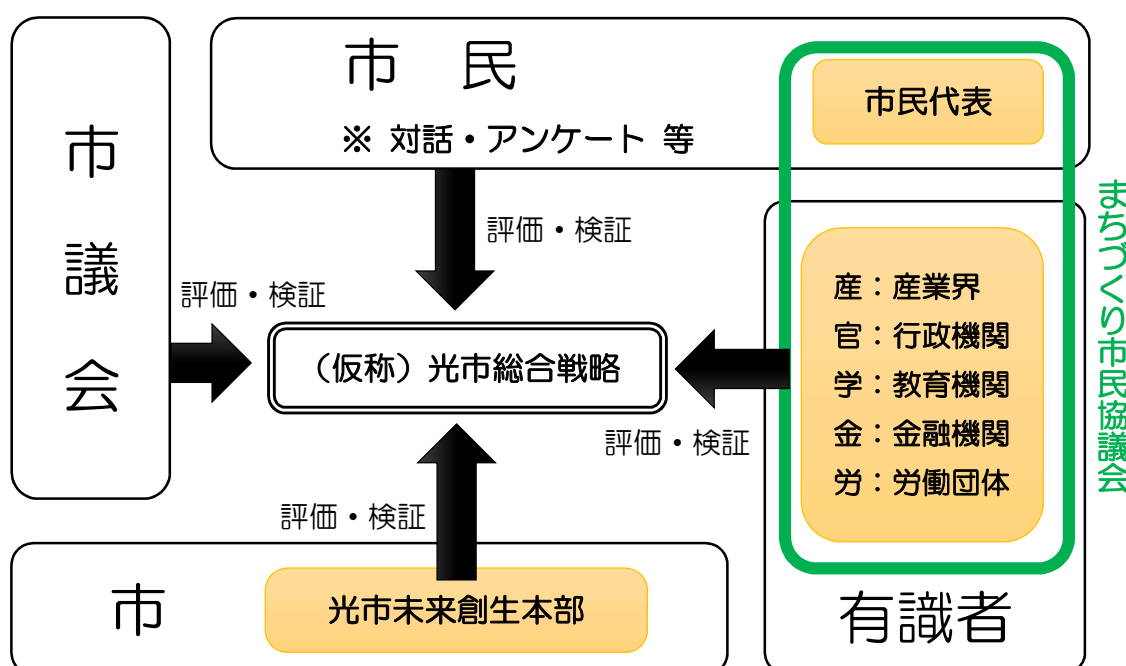
戦略には、国による人的・情報・財政支援のもと、国・県との連携による取組みも位置づけています。人口問題への取組みについて方向性を一にする国・県の施策・事業との連携を図りながら取り組みます。

2 客観的な効果の検証と改善

(1) PDCAサイクルによる施策・事業の評価・検証と見直し

総合戦略に位置づけた施策・事業については、数値目標として掲げた「成果目標」や「施策目標（重要業績評価指標：KPI）」の達成状況に基づく効果等の評価・検証を行うとともに、社会経済情勢や国、県の動向等も踏まえつつ、必要に応じて改善や追加、変更等の見直しを行います。

(2) 評価・検証の体制



- 光市未来創生本部
市長を本部長とする庁内組織において、行政の目線から評価・検証を行います。
- 光市まちづくり市民協議会
市民と外部有識者等を交えた外部組織において、市民・有識者の目線から評価・検証を行います。
- 光市議会
住民の代表機関である市議会において、事務事業や予算・決算の審議等を通じて、議会の目線から評価・検証を行います。
- その他
市民との対話や各種アンケート、その他様々な機会におけるご意見・ご提言など、多くの市民の目線から評価・検証を行います。

VI 參考資料

Section2 アクションプラン (具体的な行動計画)

【政策目標 1 産業振興と雇用の創出】

	内 容	基準値	目標値
成果	市内総生産額		
目標	就業者数		
	産業振興や雇用に関する「満足度」		

基本戦略① 「いきいきと働く“光のしごと”」商工業元気戦略

1 戦略の内容

本市の発展をリードしてきた地域の商工業は、まちの活力や市民生活を支える雇用の源泉です。このため、鉄鋼・薬品を中心とした基幹産業の振興とともに商業やサービス業の育成と経営基盤の強化を支援します。また、新たなビジネスや成長産業の創業を促進します。さらに、若者や女性、働く意欲のある高齢者や障害者などの就労機会の確保を図るとともに、勤労者が誇りをもって、いきいきと安心して働ける労働環境を創出します。

2 具体的施策・事業と施策目標

施策の内容と実施事業		施策目標 (重要業績成果指標：KPI)	
		内容	
施策名	主な取組み	基準値	目標値
商業・サービス業の育成支援 地域特性を活かした特色ある商店を育成するとともに、消費者ニーズに応える魅力ある商品やサービスの県内外への発信を支援します。	○ふるさと納税のお礼品となる特産品の開発 ○光プレミアム付市内共通商品券の発行 ○地域の特色ある商業活動・イベントの支援	・卸・小売業年間販売額 ・地元購入率	

施策の内容と実施事業		施策目標 (重要業績成果指標：KPI)	
		内容	
施策名	主な取組み	基準値	目標値
工業の振興と企業誘致の促進 安定した雇用の基盤となる既存の基幹工業や地域工業の振興を図るとともに、新たな優良企業の立地を促進します。	<ul style="list-style-type: none"> ○工業用水の供給 ○企業立地推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・事業所設置奨励金、雇用奨励金 ○基幹工業と地域工業の振興 ○道路網の整備（県道光玖珂線など高速道へのアクセス道） ○ソフトパーク等への企業誘致活動の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・製造品出荷額 ・事業所設置奨励金交付件数 	
創業と新しいチャレンジへの支援 関係機関との連携のもと、光市での創業や、新商品・新技術の開発など、志ある新たなチャレンジを支援します。	<ul style="list-style-type: none"> ○新規事業へのチャレンジ支援 ○中小企業への金融対策 	<ul style="list-style-type: none"> ・市制度活用による創業事業者数 ・周南サポート事業支援件数 	
雇用の拡大と就労環境の充実 企業等との連携のもと、雇用の拡大や福利厚生の充実を促進するとともに、雇用に関する的確な情報提供・相談や、職業訓練・技能習得の機会の充実を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ○県や大学等と連携した若者の地元定着の支援 ○中小企業等雇用奨励金 ○高齢者や障害者、女性の就労機会の確保 ○就労・雇用に関する情報提供や相談の充実 ○職業能力開発の支援充実 ○労働福祉事業、勤労者育成事業等の支援 ○後継者の育成と人材確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・有効求人倍率 ・中小企業等雇用奨励金交付対象者数 	

基本戦略② 「海と大地の恵み^{プラス} + 人の情熱」 農林水産業進化戦略

1 戦略の内容

有形無形の様々な地域資源と農林水産業の融合により、新たなビジネス展開を目指す「第六次産業化」は、従事者の雇用と所得の確保にも大きな効果が期待できます。このため、第一次産業の活性化を図るとともに、生産から加工、販売に至る一体的な流通販売体制の構築を進めます。

2 具体的施策・事業と施策目標

施策の内容と実施事業		施策目標 (重要業績成果指標：KPI)	
		内容	
施策名	主な取組み	基準値	目標値
<p>生産・生活基盤整備と経営安定化への支援</p> <p>安全・安心な農林水産物の安定した生産を支えるとともに、生産量の維持・増加による経営の安定化と生産意欲の向上を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○集落営農の推進 ○鳥獣被害防止対策の推進 ○資源管理型漁業の推進 ○森林整備の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・農林水産業の合計生産量 ・鳥獣による農林業被害額 	
<p>意欲あふれる人材の育成と後継者の確保</p> <p>農林水産業の新たな担い手の確保・育成・定着を目指し、助成制度の活用促進や指導・助言など、様々な機会を通して相談・支援の充実を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○新規就業者への定住支援 ○新規就農者・新規漁業就業者の確保・育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・農林漁業新規就業者数 ・認定農業者数 	

施策の内容と実施事業		施策目標 (重要業績成果指標：KPI)	
		内容	
施策名	主な取組み	基準値	目標値
<p>地産地消による農林水産物の消費拡大</p> <p>地元産の安全な食材を地元で消費するだけでなく、生産者の意欲向上や食育の推進など多面的な効果をもたらす地産地消を推進します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○農業体験・研修や食農教育の充実 ○安全・安心な農産物の生産 ○魚食普及活動の推進 ○学校給食への地元産品の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の食材を購入している人の割合 	
<p>ブランド化と新たな流通の確立</p> <p>特性を活かした特産品・加工品の開発や新たな流通経路の確立により、“光産”のブランド化を推進します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○水産業の第六次産業化に向けた調査研究 ○農産物のブランド化の推進 ○生産者と消費者の交流促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・新商品等の開発件数 ・生産者と消費者の交流機会への参加者数 	

【政策目標 2 都会からの移住促進と定住支援】

	内 容	基準値	目標値
成果	都会※からの転入者数 ※転出が多い東京圏、大阪圏、広島県、福岡県		
目標	転出者数		
	今後もずっと光市で暮らしたいという人の割合		

基本戦略① 「光」の発掘！発信！知名度向上戦略

1 戦略の内容

スローライフなどを求めて大都市圏から地方への移住志向が高まる中、「選ばれるまち」になるためには、人を惹き付ける魅力が不可欠です。このため、本市の「強み」である住みよい住環境や豊かな自然環境を基盤に、独自の都市ブランドを確立します。また、シティセールスの観点に立ったプロモーション活動などにより、まちの魅力を発信します。

2 具体的施策・事業と施策目標

施策の内容と実施事業		施策目標 (重要業績成果指標：KPI)	
		内容	
施策名	主な取組み	基準値	目標値
<p>「光」を磨く！光を観たくなる基盤整備</p> <p>豊かな自然や悠久の歴史をテーマに「光」の魅力をさらに輝かせるため、市内各所に点在する「光」の魅力をネットワーク化するとともに、訪れやすい環境整備を進めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○歴史・文化鑑賞環境の整備 ○冠山総合公園「花物語シリーズ」の推進 ○広域観光ネットワークの充実 ○観光資源のネットワーク化の推進 ○室積・虹ヶ浜海岸の魅力の向上 ○グリーンツーリズム・ブルーツーリズムの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内周回ルートの設定数 ・観光スポット・歴史・文化施設等の総来訪者数 	

施策の内容と実施事業		施策目標 (重要業績成果指標：KPI)	
		内容	
施策名	主な取組み	基準値	目標値
<p>「光」にこだわる！独自の魅力発掘</p> <p>「光」という名前をはじめ、本市が持つ唯一無二の資源から新たな魅力を見出し、市内外を問わず人を惹き付ける独自の魅力にまで高める取組みを展開します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○光ブランドイメージの創出 ○体験型旅行誘致の推進 ○太陽光発電やLEDなど再エネ・省エネ機器の普及促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・光にこだわった事業への参加・来場・体験・利用者数 ・光市に愛着を持っている市民の割合 ・住宅用太陽光発電の普及率 	
<p>全国に届け！「光」の「光（魅力）」発信の強化</p> <p>「光」の知名度向上に向けて、様々な人や媒体、機会等を有効に活用し、まちの魅力を全国に発信します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ICTによる「光」の発信 ○人口定住促進プロモーションビデオの制作と活用 ○フォトライブラリーの開設 ○明治維新150周年に向けた企画展の開催 ○ふるさと光応援寄附金の拡充 ○都市圏における県の施設や同郷会等を通じた情報発信の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・光市ホームページのアクセス件数 (パノラマビューアクセス件数) ・光市関連記事のマスコミ取り上げ件数 ・ふるさと光応援寄附金の寄附件数 	

基本戦略② 「おいで一ね！光へ」移住・定住促進戦略

1 戦略の内容

本市では、高校卒業後に故郷を離れて、隣接県や大都市圏に向かう若者が多くなっており、人口減少の大きな要因となっています。この流れを食い止めるため、若者の県内進学や就職の促進に努めるとともに、都市圏から地方への移住希望者を本市に呼び込めるよう、きめ細かな相談・受入体制の整備を進めるなど、本市への定住・定着を支援します。

2 具体的施策・事業と施策目標

施策の内容と実施事業		施策目標 (重要業績成果指標：KPI)	
		内容	
施策名	主な取組み	基準値	目標値
移住・定住情報の発信 移住・定住に関心を持つ人や実際に希望する人に、「終の住まい」として「光市」の名を挙げてもらえるよう、的確な情報をお届けします。	○人口定住促進プロモーションビデオの制作と活用（再掲） ○U J I ターン情報サイト・全国移住ナビの充実 ○移住・定住相談体制の充実	・移住・定住相談件数 ・光市の移住関連ページへのアクセス数	
移住者の“住む”と“働く”の安心サポート 移住において課題となる“住む”と“働く”を支援し、移住者が新たな生活を安心してスタートできるよう、まちぐるみでサポートします。	○空き家情報バンクの設置 ○市職員「ひかりU J I ターン」採用枠の導入 ○新規就業者への定住支援（再掲） ○中小企業等雇用奨励金（再掲）	・市の制度を活用して市外から移住した世帯数・人数 ・生産年齢人口（15-64歳）の転入者数 ・空き家情報バンクの成約件数	

施策の内容と実施事業		施策目標 (重要業績成果指標：KPI)	
		内容	
施策名	主な取組み	基準値	目標値
<p>住み続けたい「光」 定住・定着支援</p> <p>光市で生まれ育った人、新たに光市に来た人、誰もが希望するライフスタイルで、光市にいつまでも住み続けられるための支援と環境づくりを進めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○県や大学等と連携した若者の地元定着の支援（再掲） ○市遊休地の活用 ○岩田駅周辺における公営住宅の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間新築住宅戸数 ・高校生等の地元就職率 	

【政策目標3 結婚・出産・子育ての希望実現】

	内 容	基準値	目標値
成果	婚姻率（人口千人あたり）		
目標	出産希望実現指標（最終的な子どもの人数/理想の子どもの人数）		
	子どもの育成に関する「満足度」		

基本戦略① 「光で家族になろうよ！」結婚・出産祝福戦略

1 戦略の内容

結婚・出産・子育ての希望をかなえるためのスタートは、男女の出会いです。共に人生を歩む人との出会いを支援するとともに、安心して子どもを妊娠、出産できる環境を整え、「おっばい都市宣言」のまち光市で、温かく幸せな家庭を築くための第一歩を、まち全体で後押しします。

2 具体的施策・事業と施策目標

施策の内容と実施事業		施策目標 (重要業績成果指標：KPI)	
		内容	
施策名	主な取組み	基準値	目標値
出会いと結婚の支援 結婚を希望する人に出会いの機会を提供するとともに、結婚に至ったカップルの門出をお祝いし、幸せな家庭づくりを支援します。	○出会いの場の機会の提供 ○オリジナルデザイン婚姻届・出生届による祝福	・出会いの場への参加者数 ・オリジナルデザインの出生届・婚姻届を交付した割合（本市窓口受理分）	
健やかな妊娠・出産支援 健やかな妊娠と出産を、様々な側面からきめ細かく支援し、新たな命の誕生をお祝いします。 また、各種の相談や教室、冊子等を通じて親になることへの不安や悩みを軽減するお手伝いをします。	○オリジナルデザイン婚姻届・出生届による祝福（再掲） ○子ども相談センター「きゅっと」を中心とした子ども・子育て総合相談体制の充実 ○母親教室・家族学級の開催 ○不妊・不育治療への支援 ○妊婦健康診査の充実 ○特定妊婦訪問の実施 ○誕生記念植樹の実施 ○パパの子育てノートのお手配	・妊婦健康診査受診率 ・不妊治療費への助成・不育治療費への補助件数	

基本戦略② 「おっばい都市のクオリティ」 温もり子育て応援戦略

1 戦略の内容

少子化の流れを変えるため、また、親として子育ての責任を果たしていくためには、子育てに対する負担感や不安感を取り除き、喜びを感じながら子育てを楽しむ環境づくりが大切です。このため、「おっばい都市」の名にふさわしい、切れ目のない相談・支援体制の充実を図るとともに、“光で子育てしたい”と思える環境づくりを進めます。

2 具体的施策・事業と施策目標

施策の内容と実施事業		施策目標 (重要業績成果指標：KPI)	
		内容	
施策名	主な取組み	基準値	目標値
<p>悩みや不安を取り除くきめ細かな相談体制の充実</p> <p>「きゅっと」を中心に様々な専門員が親身になって相談をお受けするとともに、個別訪問などにより、子育ての悩みや不安が少しでも軽減・解消されるよう体制の充実を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○子ども相談センター「きゅっと」を中心とした子ども・子育て総合相談体制の充実（再掲） ○育児相談・離乳食教室の開催 ○発達支援学級・相談の実施 ○母子保健推進員の個別訪問 ○妊産婦・新生児・乳幼児訪問、未熟児訪問 ○保育出前講座の開催 ○食育相談の実施 ○DV等相談体制の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談による悩みや不安の解消件数 ・個別訪問件数 	
<p>安心と希望を届ける子育ての情報発信と啓発</p> <p>市のサービスやイベントなど、子育てに役立つ情報発信の充実を図るとともに、「おっばい都市」の理念を踏まえたやさしさの子育てについて、家庭はもとより、まち全体で共有できるよう、啓発を進めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○子育て情報誌（チャイベビ）の作成 ○おっばいのうた、おっばい体操の充実 ○母と子のしおり・おっばい冊子の配付 ○未来のパパママ応援事業の実施 ○パパの子育てノートの配付（再掲） ○おっばいまつりの開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・対象家庭への子育て情報誌の配付率 ・子育てに関する講座・イベント等への参加者数 	

施策の内容と実施事業		施策目標 (重要業績成果指標：KPI)	
		内容	
施策名	主な取組み	基準値	目標値
<p>健やかに育つ子育て・子育て環境の質の向上</p> <p>子どもたちの医療受診の支援や、子育て支援の核となる保育・幼児教育環境の充実など、ハード・ソフトを問わず、子どもたちが安全・安心に包まれて健やかに育つ子育て・子育て環境づくりを進めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○子ども・子育て支援新制度に移行する施設等への支援 ○子ども医療費助成事業の拡充 ○予防接種事業の実施 ○保育サービス・幼児教育の拡充（再掲） <ul style="list-style-type: none"> ・保護者負担の軽減（第2子以降の保育料等の無料化、多子世帯（第3子以降）の保育料等の軽減、私立幼稚園就園奨励費 等） ・障害児保育、延長保育、病児・病後児保育、休日保育、一時預かり事業 ○乳幼児健康診査・歯科保健の実施 ○乳幼児の適切な栄養指導、母乳育児の推進 ○公立幼稚園・保育園の耐震化の推進 ○児童遊園地など子ども遊び場の安全確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・対象年齢の児童に対する子ども医療費受給者証の交付割合 ・6歳未満で13価ワクチン未接種の児の接種率 	

基本戦略③ 「子どもたちはまちの“宝”」子育ての「わ」拡大戦略

1 戦略の内容

核家族化や若い共働き世帯が増加する中、健やかに子どもを産み育てるには、保護者や家庭はもとより、地域や企業（職場）、行政など、まちぐるみで子育て家庭を支えていくことが重要です。このため、男女を問わず就労と子育てを両立できる環境づくりを進めるとともに、子育て支援の輪をまち全体に広がります。

2 具体的施策・事業と施策目標

施策の内容と実施事業		施策目標 (重要業績成果指標：KPI)	
		内容	
施策名	主な取組み	基準値	目標値
<p>仕事と家庭を両立できる環境づくり</p> <p>必要な保育サービスの充実のもと、企業等との連携のもと、各種厚生制度の充実や男性の育児休業の促進など、仕事と家庭の両立を実現できる環境づくりを進めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○保育サービス・幼児教育の拡充 <ul style="list-style-type: none"> ・保護者負担の軽減（第2子以降の保育料等の無料化、多子世帯（第3子以降）の保育料等の軽減、私立幼稚園就園奨励費等） ・障害児保育、延長保育、病児・病後児保育、休日保育、一時預かり事業 ○放課後児童クラブ（サンホーム）の拡充 ○ひかりファミリー・サポート・センターの運営 ○子育て短期支援事業（ショートステイ・トワイライトステイ）の実施 ○男性の家事子育て参加の促進 ○各種厚生制度を取得しやすい職場環境の醸成 ○ワーク・ライフ・バランスの普及・啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・18-49歳の女性の就業者数 ・家庭生活と仕事を同じように両立させている人の割合 ・「男は仕事、女は家庭」という考え方を肯定する人の割合 	
<p>まち全体で支える子育て支援の展開</p> <p>子育て家庭だけでなく、地域、企業（職場）、学校、行政など、まち全体が連携し、「わ」となって、子どもたちの心豊かで健やかな成長を見守り、応援します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○子育て支援の「わ」事業の拡充 ○子育て支援者ネットワーク事業の拡充 ○おっぱいまつりの開催（再掲） ○みんなでハッピーバースデー子育て応援事業の実施 ○ひかり子育て見守りネットワーク事業の実施 ○ワーク・ライフ・バランスの普及・啓発（再掲） 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援分野のまちづくりに参加している人の割合 ・地域の子育て支援拠点利用者数 	

基本戦略④ 「まち全体が教室！」連携と協働の教育実践戦略

1 戦略の内容

地方創生の流れが本格化する中であって、光市の将来を担う子どもたちは、このまちの最大の財産であると同時に、明るい未来につなぐカギを握る存在です。このため、学校・家庭・地域が一体となって、ふるさと光や自らが生まれ育った地域をこよなく愛し、夢と希望と誇りに満ちた“光っ子”を育成します。

2 具体的施策・事業と施策目標

施策の内容と実施事業		施策目標 (重要業績成果指標：KPI)	
		内容	
施策名	主な取組み	基準値	目標値
<p>学校・家庭・地域が つながる教育の推 進</p> <p>市内全ての公立小 中学校に設置されて いるコミュニティ・ス クールを中心に、学 校・家庭・地域、さら に、学校間、校種間も 連携し、地域全体での 教育を推進します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○コミュニティ・スクールの活用と充実 <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・スクールコンダクターの配置 ・地域住民を対象とした講座開設 ・子どもの地域貢献活動の推進 ○放課後子ども教室の拡充 ○幼保小・小中連携の推進 ○学校地域支援本部事業の実施 ○ふれあいランチ支援事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援や青少年健全育 成の分野のまちづくり活 動に参加している市民の 割合 ・地域の行事に参加している 児童生徒の割合 	
<p>安心して学び心豊 かに育つ教育環境 づくり</p> <p>学校の安全対策は もとより、読書環境の 整備や地域活動等を 通じて豊かな心を育 む、まち全体の教育環 境づくりを進めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○小中学校の施設整備や耐震化（非構造部材） の推進 ○放課後児童クラブ（サンホーム）の拡充（再掲） ○市立学校の将来のあり方の検討 ○奨学金や就学援助など就学支援の推進 ○子どもの読書環境の充実 ○新入学児童への記念樹の配付 ○クリーン光など青少年の奉仕活動や体験活動等 への参加促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の耐震化率 ・クリーン光への参加児童 生徒数 	

基本戦略⑤ 「可能性は無限大！一人ひとりに向き合う」やさしさ教育実感戦略

1 戦略の内容

子どもたちが自らの可能性を高め、夢や希望を実現していく力を育てるためには、児童生徒一人ひとりを大切にした教育が重要です。子どもたちが抱える課題が複雑化する中、多様な教育的ニーズに応じた本市独自のきめ細かな相談・支援体制を構築するとともに、子どもたちの豊かな想像力や好奇心を引き出す、質の高い教育を推進します。

2 具体的施策・事業と施策目標

施策の内容と実施事業		施策目標 (重要業績成果指標：KPI)	
		内容	
施策名	主な取組み	基準値	目標値
<p>「学び」のニーズに応える教育の実現</p> <p>子ども一人ひとりの「学び」のニーズにこたえとともに、外国語教育やキャリア教育など、時代の進展に対応した、特色ある教育を推進します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○外国語教育の充実 ○特色ある質の高い授業づくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・光スタンダード（授業展開）を意識した授業づくり ・「光プラン」による指導体制・指導方法の工夫改善 ・「授業の光ネット」（教職員の自主的な研修会）の実施 ○小・中9年間を見通したキャリア教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・職場見学・職場体験学習の充実 ・未来のパパママ応援事業の実施（再掲） ○教育活動全体を通じた食育の実践 ○安全・防災教育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の夢や目標を持っている子どもの割合 ・学校に行くのは楽しいと思う子どもの割合 	

施策の内容と実施事業		施策目標 (重要業績成果指標：KPI)	
		内容	
施策名	主な取組み	基準値	目標値
<p>一人ひとりを大切にする特別支援教育の推進</p> <p>支援を要する児童生徒一人ひとりの個性や特性を大切にした教育支援体制を構築し、ニーズに応じたきめ細かな指導・支援を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○光っ子サポーターの配置 ○光っ子コーディネーターの配置 ○就学相談会の実施 ○関係機関との連携強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・光っ子サポーターによる指導・支援人数 ・光っ子コーディネーターの訪問回数 ・就学相談件数 	
<p>いじめや不登校の未然防止と対応の充実</p> <p>いじめの未然防止や早期発見に努めるとともに、関係機関との連携・協働のもと、いじめの根絶に向けた迅速な対応を図ります。</p> <p>また、不登校児童生徒に対して専門家と連携したきめ細かな支援を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○光市いじめ問題対策協議会・光市いじめ問題調査委員会の設置 ○スクールライフ支援員の派遣 ○心療カウンセラーの派遣 ○ヤングテレホン等の相談体制の周知 ○専門家による教育相談の実施 ○不登校未然防止事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知されたいじめの年度内解消率 ・不登校児童生徒の割合 	

【政策目標 4 時代にあった都市経営】

	内 容	基準値	目標値
成果	「地域コミュニティ活動」の支援に関する満足度		
目標	地域医療対策・高齢福祉対策の充実に関する満足度		
	光市を住みよいと感じる人の割合		

基本戦略① 「人が地域でつながり動く」地域自治開花戦略

1 戦略の内容

人口減少や少子高齢化の社会において、多様化する地域課題を解決していくためには、自分たちの地域は自分たちで創る「地域自治」の実現が必要です。これまでに築き上げられた「市民力」や「地域力」を土台に、自治会など地域コミュニティの活性化を図るとともに、地域づくりを支える市民活動を支援します。併せて、地域コミュニティの活性化を通して、移住者を温かく受け入れ、充実した生活や余暇をサポートする環境づくりを進めます。

2 具体的施策・事業と施策目標

施策の内容と実施事業		施策目標 (重要業績成果指標：KPI)	
		内容	
施策名	主な取組み	基準値	目標値
地域と行政との協働の推進 地域と行政の相互理解のもと、多様化する地域の課題やニーズについて地域自らが考え、行動し、課題の解決へと導くために必要な支援を行います。	○地域担当職員の配置 ○地域のコミュニティプランの策定支援 ○元気なまち協働推進事業の実施 ○アダプト・プログラムの推進 ○クリーン光など青少年の奉仕活動や体験活動等への参加促進（再掲）	・アダプト・プログラムの参加団体数 ・地域のコミュニティプランの策定割合	
地域コミュニティの活性化への支援 地域づくりの基盤となる、自治会などの地域コミュニティ組織への加入促進や人材育成など、地域の自治機能を高めるための支援を行います。	○地域づくり支援センターの機能強化 ○自治会の組織化と加入促進 ○地域コミュニティを担う人材の育成	・自治会加入率 ・まちづくり活動に参加している人の割合	

基本戦略② 「いつまでも“光”で自分らしく」医療・福祉充実戦略

1 戦略の内容

高齢化が急速に進む中、医療や介護、生活支援などに不安を感じることなく、安心して生活できる環境を創出することが重要です。このため、医療需要の増大に対応し、救急医療・急性期医療の充実を図るとともに、医療、介護、予防、生活支援、住まいの視点による地域包括ケアの推進により、誰もが生涯安心して暮らせる理想社会の実現を目指します。

2 具体的施策・事業と施策目標

施策の内容と実施事業		施策目標 (重要業績成果指標：KPI)	
		内容	
施策名	主な取組み	基準値	目標値
<p>2つの市立病院を核とした安心の医療環境整備</p> <p>2つの市立病院を核として、高齢化による医療需要の拡大に対応しつつ、安心の砦となる救急医療・急性期医療の充実を図り、誰もが安心できる医療環境づくりを進めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○光総合病院の移転新築による急性期医療機能の充実 ○大和総合病院における在宅医療の推進 ○両市立病院の連携の強化 ○大和地域への民間診療所誘致 ○市立病院における医療スタッフ確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・医師・歯科医師数 ・市立病院全病床利用率 	
<p>高齢者にもやさしい地域包括ケアシステムの構築</p> <p>高齢者になっても可能な限り住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、医療、介護、予防、生活支援、住まいの5つの視点から、切れ目の無い支援を行うためのシステム構築を進めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○在宅医療の推進 ○医療と介護の連携促進 ○高齢者への相談・支援体制の充実 ○介護予防事業の充実・推進 ○認知症対策の推進 ○高齢者を地域で見守るネットワークの構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議の開催回数 ・介護予防事業の参加者数 ・認知症サポーター養成講座受講人数（累計） 	

基本戦略③ 「光」が「光」であり続けるために」まちの再構築戦略

1 戦略の内容

急速な人口減少により、都市の低密度化が見込まれる中、利便性の高い生活を維持しつつ、さらに効率的な都市経営への転換を図ることが求められます。このため、コンパクトなまちづくりを一層推進するとともに、公共交通のネットワーク化と再構築を進め、持続可能な都市の実現に努めます。また、公共施設の再編や適正配置などにより、将来的な維持管理経費の軽減を図ります。

2 具体的施策・事業と施策目標

施策の内容と実施事業		施策目標 (重要業績成果指標：KPI)	
		内容	
施策名	主な取組み	基準値	目標値
コンパクトシティの形成 都市機能の集約化とネットワーク化により、人口減少の中においても、誰もが安心して住み続けられる快適で便利な地域をつくります。	○岩田駅周辺における施設整備 ○岩田駅周辺における公共施設の再編・再配置 ○岩田駅周辺における公営住宅の整備（再掲）	・大和複合型施設の利用者数	
魅力と活力ある中山間地域の振興 中山間地域において、安全で安心して暮らせる生活環境を整備するとともに、地域の資源や特性を活かした振興を図ります。	○空き家情報バンクの設置 ○第2次中山間地域振興ビジョンの策定 ○地域の夢プラン（地域のコミュニティプラン）の策定支援（再掲） ○コミュニティ交通事業の実施	・中山間地域の人口割合 ・地域の夢プラン（地域のコミュニティプラン）の策定割合（再掲）	

施策の内容と実施事業		施策目標 (重要業績成果指標：KPI)	
		内容	
施策名	主な取組み	基準値	目標値
<p>公共施設等の再編・再構築</p> <p>人口増加、高度経済成長の時代に築いてきた各種の公共施設について、将来を見据え、方向性を検討します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○公共施設の適正配置等に関する方針（仮称）の策定 ○市営住宅の再編の検討 ○公立幼保施設の再編 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の適正配置等に関する方針（仮称）の策定 	
<p>都市基盤の整備とストックマネジメント</p> <p>必要な都市基盤の整備を進める一方、社会的需要や費用対効果等を見極めつつ、道路・橋梁等のインフラや老朽化が進む施設等の適正な管理運営を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○道路や橋梁の点検・整備 ○公園（遊具含む）や街路樹、緑地帯の点検・整備 ○公営住宅の長寿命化の推進 ○公共下水道の整備や浄化槽の設置支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・都市インフラ（道路、公園、上下水道）整備率 	
<p>効果的・効率的な行財政運営の取組み</p> <p>社会保障費などの財政需要の拡大が見込まれる中、中長期的な展望に立ち、世代間のバランス、給付と負担のバランス等を踏まえた持続可能で堅実な行財政運営を進めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○健全な財政運営の基本となる財政計画と行政改革大綱の策定 ○財政状況の公表方法の充実 ○地方公会計整備の推進 ○歳入確保の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・健全化判断比率 ・市税収納率 	